

# 実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」講習会開催のご案内

主催：一般財団法人 日本建築防災協会、一般社団法人 建築研究振興協会

## ■災害時に避難場所となることが想定される体育館等の耐震改修のニーズは今後ますます増大します。

鉄骨造体育館は、生徒等を含めた多数の人々が一時に使用している場合があることや震災時等には住民の一時避難場所としての使用が想定されることなどから、高い耐震性能が要求されています。しかし、耐震性能を満足している体育館は必ずしも多くなく、耐震診断の結果、耐震性が不足している体育館は、適切な耐震改修を行い耐震性能を高める必要があります。建築物の耐震化が強く叫ばれている今日、体育館等の耐震改修のニーズは今後ますます増大していきます。

## ■非構造部材の耐震性も重要

体育館では大地震時はもちろんその後の余震等も考慮した天井、ガラス、照明・放送設備等の非構造部材の耐震対策も重要です。

## ■実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」

このようなニーズに応えるため、鉄骨造体育館等の耐震改修を適切に実施するための具体的な手順と方法を事例で示し、非構造部材の対策も含めた、実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」（編集委員長：高梨晃一東大名誉教授）を主催団体で発行しています。本書は体育館の他、鉄骨工場、鉄骨倉庫等にも適用できるものです。本書をテキストに、下記により講習会を開催します。

## ■この「手引と事例」は、日本建築防災協会発行の「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断および耐震改修指針・同解説」及び文部科学省の「屋内運動場の耐震性能診断基準」にも対応できるよう作成されています。

## ■体育館等の耐震改修実施の際は、是非この「手引と事例」を参考に実施してください。

## ■耐震改修実施済みの体育館等も是非この「手引と事例」で非構造部材の再度チェックと対策を！

## ■建築技術者、建築行政・営繕・教育委員会施設担当者の方々には是非受講してください。

建築技術者、建築行政・営繕・教育委員会施設担当者をはじめ、建築物の設計・施工・監理、維持保全業務に携わる皆様には、ぜひこの機会に受講され、鉄骨造体育館等の実務的な耐震改修技術を習得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

## ■本講習は継続能力開発（CPD）制度認定講座（6単位）の予定です。

受講された建築士の方でCPD制度（「建築CPD」（財）建築技術教育普及センターまたは「建築士会CPD」公益社団法人日本建築士会連合会）に参加されている方には、自動的にこのCPD単位が付与されますので、お申し込みの際に、氏名・フリガナ、建築士番号を正確に入力または記入してください。

## ■本講習は一般社団法人日本建築構造技術者協会のJSCA建築構造士登録更新のための評価点対象講習会（予定）です。詳細はJSCAのHP（構造士ニュース <http://www.jsca.or.jp/>）を参照して下さい。

## ■受講修了証交付

講習受講者には、本講習会を受講したことを証する受講修了証を交付いたします。

## 記

### 1. 開催地・期日・会場・定員

開催地	期 日	会 場	定 員
東 京	平成24年9月24日（月）	全国町村議員会館 2階大会議室 千代田区一番町25番地	200人
大 阪	平成24年9月27日（木）	大阪府建築健保会館 6階ホール 大阪府中央区和泉町2-1-11	150人

（注）駐車場は用意しておりませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

## 2. プログラム（予定）（都合により一部変更となる場合があります。）

1. 開会挨拶（主催者、開催地建築行政担当課長等）（9：50～10：00）
2. 鉄骨造体育館等の地震被害例と耐震診断・耐震改修の考え方及び総則（10：00～12：00）  
東京電機大学未来科学部建築学科教授 宇田川 邦明
3. 補強設計の原則、補強建物の耐震性能の評価と判定及び非構造部材の対策（13：00～15：00）  
一般財団法人日本建築防災協会技術アドバイザー・(株)堀江建築工学研究所所長 太田 勤
4. 補強方法と補強部材の設計及び補強設計例（15：10～16：40）  
(有)アフェクト設計事務所代表取締役 岡田 健良
5. 受講修了証交付（16：40～17：00）

## 3. 受講料（テキスト代別。消費税込み）

12,000円

## 4. テキスト及びテキスト代

「実務者のための既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」（2005年7月20日発行初版第2刷）  
（発行：一般財団法人日本建築防災協会・一般社団法人建築研究振興協会、監修：国土交通省住宅局建築指導課）

テキスト代：8,000円（消費税込み）

※日本建築防災協会の情報交流制度申込者はテキスト代が7,200円（消費税込み）となりますので、申し込みの際に情報交流番号を記載してください。

情報交流制度とは、建築防災に関する情報提供を図るため、月刊「建築防災」の送付を主な目的とした制度です。この制度の内容については <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/jyohokouryu/index.html> をご覧ください。

## 5. 受講申し込み方法

（1）インターネットによるお申し込みと、（2）郵送によるお申し込みがあります。インターネットによるお申し込みの場合は振り込み手数料等がかかりません。郵送によるお申し込みの場合は振り込み手数料をご負担下さい。

できるだけインターネットによるお申し込みにご協力下さいますようお願いいたします。

申し込み方法の詳細は、以下「7. 申し込み方法の詳細」に記載しております。

### （ご注意）

- ・インターネットによるお申し込みをされた場合、「7. (2) 郵送によるお申し込み」記載の「銀行振込口座」へのお振込はできません。必ずインターネットによるお申し込み指定の手続きに従って受講料（テキスト代含む。）をお支払い下さい。
- ・お支払いいただいた受講料は、当方の都合により受講をお断りする場合を除いて返金いたしません。
- ・テキストを希望して当日欠席された方には後日テキストを送付いたします。

## 6. 申込先・問合せ先

一般財団法人日本建築防災協会 鉄骨造体育館講習会係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20虎ノ門YHKビル3F (Tel. 03-5512-6451 FAX. 03-5512-6455)

<b>主 催</b>	一般財団法人日本建築防災協会、一般社団法人建築研究振興協会
<b>後 援</b>	国土交通省、文部科学省、東京都、大阪府、日本建築行政会議、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、一般社団法人日本建築構造技術者協会、(社)日本建設業連合会、一般社団法人文教施設協会、(社)日本鋼構造協会、公益社団法人ロングライフビル推進協会、(社)東京建築士会、(社)大阪府建築士会、一般社団法人東京都建築士事務所協会、(社)大阪府建築士事務所協会、公益財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター、一般財団法人大阪建築防災センター、既存建築物耐震診断改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

7. 申込み方法の詳細（できるだけ（1）インターネットによるお申し込みにご協力をお願いします。）

（1）インターネットによるお申し込み（振込手数料等はかかりません。）

下記へアクセスし、画面の案内に従ってお進みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html>

【申込段階】

① 会場選択（参加申込フォーム画面）

ご希望の講習会の会場の **申込** ボタンを押して下さい



② 受講者情報入力（参加申込フォーム画面）

必要事項を入力後、支払方法を選択し、一番下の **確認画面へ** ボタンを押して下さい



③ 受講者情報確認（参加申込フォーム画面）

内容確認後、画面を印刷のうえ、一番下の **申込** ボタンを押して下さい。これで仮受付が終了します。次に **お支払いページへ進む** ボタンを押して支払い方法の選択へ進んでください。



【支払い方法の選択】

④ お支払い方法の選択（三菱UFJファクター画面）

以下のいずれかのお支払い方法を選択し、**次へ** ボタンを押して下さい

銀行支払の場合

- 銀行 ATM（ペイジー対応 ATM）
- ゆうちょ銀行（ペイジー対応 ATM）
- インターネットバンキング（ペイジー取扱）

コンビニ支払の場合

- セブンイレブン
- ローソン
- ファミリーマート
- セイコーマート
- サークルKサンクス



⑤ お支払い方法の確認（三菱UFJファクター画面）

内容を確認の上、**お支払方法を確定する** ボタンを押して下さい。

すぐにお客様のメールアドレスへ「支払い方法の確定」を電子メールにて送信いたします。次に選択した方法にてお支払いください。



【支払い】

⑥ 銀行又はコンビニで代金をお支払い下さい。

○銀行支払の場合

ペイジーに対応している銀行ATM機にて、お客様番号等を入力すれば指定金額が画面に表示されますので、手続きに従って振り込み下さい。

○インターネットの口座のある方のみお支払いが出来ます。

○コンビニ支払の場合

選択したコンビニの窓口等でのみ、支払いができます。



【手続き完了】

⑦ 受講票の発行（手続き完了報告）

期日までに入金を確認された方に、「受講票」を電子メールにて送信いたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

※1 インターネットからのお申込みの場合は、申込書のご送付は必要ありません。

※2 申し込み、支払方法のご選択をされても、受講料のお支払いが無い場合は、受講できません。

※3 受講申込の際に入力された個人情報講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容に関する情報の送付及びCPD制度の手続きに使用します。それ以外の目的には使用いたしません。

※4 ATMでお支払いいただく時間帯によっては、「時間外手数料」をご負担いただく場合がございますので、ご承知おきください。

このインターネットによるお申し込みについてのお問い合わせは以下へお願いします。

TEL. 042-628-9560（サンパートナーズ（株）講習会係）

(2) 郵送によるお申し込み(振込手数料はご負担下さい。)

以下の受講申込書(1名につき1枚。コピー可)に記入し、①事前に受講料を下記の銀行振込口座へ振り込みした受領証のコピーを申込書所定の貼付欄に貼付し、②前記「6. 申込先・問合せ先」宛郵送してください。FAXにて、受講票及び会場案内図を送付いたします。  
(銀行の受領証をもって領収証に変えさせていただきます。)

三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店 普通 2590306

ザイニホンケンチキホウサキョウカイ  
一般財団法人日本建築防災協会

キリトリ

「実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引きと事例」講習会」  
受講申込書(郵送によるお申し込み用)

※ インターネットによるお申し込みの場合は、この受講申込書は必要ありません。

※ 受講された建築士の方で、CPD制度に参加されている方は、自動的に本講習会のCPD単位が付与されますので、氏名・フリガナ・建築士番号を正確にご記入ください。

フリガナ				受講希望会場に○印を付けてください。		
受講者氏名				東京会場 9月24日(月)		
連絡先	自宅・勤務先 (何れかに○印を付けてください)			大阪会場 9月27日(木)		
住所	〒 - 都・道 府・県					
勤務先名				勤務先部課名		
電話番号	- -		FAX番号 (受講票送信のため、 必ず記入してください)	- -		
受講料及び テキスト代	受講料			¥12,000 円		
	テキスト代 (1か2の いずれかに ○印、1の場 合は①か② のいずれか に○)	1. 購入する				
		①一般受講者			¥8,000 円	
		②日本建築防災協会・情報交流制度申込者 (情報交流番号 )			¥7,200 円	
2. 購入しない(当日持参する)						
			合計	円		
●建築士番号	1級	第	号			
	2級 ( )	都道府県( )	第	号		
	木造 ( )	都道府県( )	第	号		

銀行の振込受領証のコピー貼付欄

(剥離しないように、しっかりと貼付してください。)

※ この申込書に記載された個人情報、講習実施に関する必要な書類等の作成、送付、本講習の内容及び耐震に関する情報の送付及びCPD制度の手続きに使用します。それ以外の目的には使用いたしません。